



号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

相模原からつなごう
日本の未来

もとむら けんたろう 賢太郎

消費税増税の前にまず政治家が身を切るべき!

トピックス 1 安倍総理決断 平成26年4月
消費税 5% → 8%へ

消費税は福祉目的税
(年金・医療・介護・子育て)のみに使うべき

もとむらの主張

平成25年10月1日安倍総理は閣議で、来年4月から消費税率を8%に17年ぶりに引き上げることを決めました。

総理は景気の落ち込みを避けるため、12月上旬に5兆円規模の景気対策(企業の設備投資を支援する補助金や公共工事が柱)を策定することを決め、さらに1兆円規模の企業減税を含めた6兆円規模の経済対策等をまとめる方向です。特に復興特別法人税の1年前倒し廃止を検討することを表明されましたが、「家計」にはさらに増税がのしかかると思います。痛みを分かち合う視点からも問題があると思います。

毎年1兆円ずつ社会保障関係費が増え続けていることから、消費税増税法の原点は「社会保障と税の一体改革」であり、社会保障費の財源確保が目的でありました。つまり、消費税は年金・医療・介護・子育てのみに使うという福祉目的税として、全額社会保障のために使うことが原点でした。民主党・自民党・公明党の3党合意には、社会保障を今より充実させる、その費用のうち国の借金で賄っていた部分を減らしていくという2つの大きな目的がありました。国と地方の財政赤字を2015年度までに半減し、20年度までにゼロにするというのは「国際公約」です。

トピックス 2 公共事業優先? 社会保障、復興は後回しに...

党政権は200兆円もの公共投資を行い、430兆円もの新しい借金を作りました。日本は良くなったでしょうか。

国の借金は1,000兆円を突破し、国民1人あたり約792万円の借金を抱えていることになる今、前号にも記載しましたが、安倍政権は公共事業バラマキを再び行っています。

国民の皆様は、1,000兆円の借金を次世代にまわしてはいけないという良識から、「いずれ消費税はやむを得ない」覚悟があった方もいたかもしれませんが、消費税が関係する社会保障の全体像を政治家が示していないことは、与野党の責任です。

さらに自民党は消費税増税法の付則に成長戦略や事前防災、減災などの分野に資金を重点的に配分すると追加しましたが、消費税の使い方を公共事業など何でも活用できるように変えたのです。

1990年～ 2009年迄の20年間に自民

まず政治家自らが身を切る改革を断行し、将来の安心を!

もとむらの主張

民主党政権時代にマニフェストを完結できなかったことは僕等も反省しなければいけません。次世代を担う子供達に私達のツケをまわさず、自分たちの目先にとらわれず、次世代の社会保障を安定させ、将来の生活の安心を先取りすることが大切だと考えています。今の人気ではなく将来の評価を得るための、政策を断行するべきです。

それには、政治家自らが身を切る「議員定数削減」「議員給与削減」を行うべきです。この議論をせずに国民の皆様にお願ひすることは出来ないと思います。まず政治家自ら示す必要があります。

つらぬく。

祝 2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催決定!

相模原市内での大会誘致に頑張りましょう。

あの感動がまた日本にやってきます。僕も、柔道を志し、心身ともに鍛えていた経験もあり感激です。日本をひとつにして、これから頑張っていきましょう。また、オリンピック大会会場を相模原市内に誘致していきたいと思っています。



35回目の被災地訪問 福島県福島市にて除染作業

もとむらの主張 要点

社会保障の全体像を示すべき

これまで日本を支えてくれた先輩方の生活や、これからの日本を支えていく皆様の将来の生活を考える中で、社会保障改革にどれだけの財源が必要で、そのために消費税をどのくらい国民の皆様にご負担いただくのか、何に使うのかを示すべき。国民の理解が一番大切。現在、医療・介護保険の負担増と年金給付金の削減だけが先行し、老後の不安が増すばかり。

国民全体で消費税増税の痛みを分かち合う前にやるべきことは

- ①政治家自ら身を切る
(例えば、議員定数削減・給与削減)
- ②天下りや渡りを繰り返すシロアリ官僚の身を切る
- ③税金のムダ使いを全廃する

消費税を増税した場合の使い道は?

→国民に使い道を理解していただくことが大前提

自民党安倍政権

- ・社会保障を安定させる名目だが使途詳細不明
- ・国土強靱化のもとで、消費税を公共事業にも使えるように変更した

もとむら賢太郎の考え

- ・年金・医療・介護・子育ての福祉目的税に限定すべき

VS

政治の師 藤井裕久先生「叙勲受章を祝う会」開催

平成25年9月28日、僕の政治の師である藤井裕久先生の「叙勲受章を祝う会」が開催されました。約600名を超える支援者の皆様、民主党海江田万里代表、民主党大畠章宏幹事長、菅直人元首相の令夫人菅伸子さんも駆けつけてくださり、盛大に開催することが出来ました。発起人代表の一人として感謝申し上げます。これからも、藤井裕久先生の後継者として、平和を原点に歴史観も勉強し頑張っまいります。



第95代内閣総理大臣 野田佳彦衆議院議員からのメッセージ (朝日新聞 デジタルニュースより)

藤井裕久先生(元財務相)との最初の出会いはおよそ10年前。選挙の応援をした帰りに高知の空港の待合室で偶然一緒になりました。藤井先生が「まだ30分あるから一杯飲もうか」と。どこで飲むのかと思ったら、ご自身の大きなカバンからワンカップを出されて、月桂冠(げっけいかん)だったか大関だったか。その飲みっぷりにほれました。銭湯からあがる時に牛乳飲む人がいますよね。こう腰に手を当てて。あれなんです。うまそうに、ぐびぐびと飲むんです。たった30分間でしたけれど、2人で10本はあけました。

衝撃のファーストコンタクト以来、お酒を飲みながら、ずーっとご指導頂いて参りました。財政、経

済、税制。何より一番楽しかったのは歴史の話なんです。田中角栄、吉田茂、もっとさかのぼって高橋是清、松方正義。その時代に生きてたかのように、友だちのように語るんです。驚きでした。一つの歴史観をご指導いただいたと思います。

ちょっと今、とんがった歴史観が多過ぎです。もっと穏やかに歴史を見つめていかなければいけない。今日は敬老の日。アフリカのある地域では、人生の大先輩を「我々の図書館」と呼ぶそうです。藤井先生は我々国会議員にとっては「国会図書館」。私たちはもっともっと引っ張り出して引っ張り出して、そのお知恵を借りながら考えていきたい。

県議会議員時代からリニア中央新幹線について仲間の皆様と議会で取り上げてきました。

未来の相模原づくりにむけて

■リニア中央新幹線駅が、相模原市橋本駅付近に決定

平成25年9月18日、JR東海が公表した「環境影響評価準備書」の中で、2027年に開業を目指す、リニア中央新幹線の神奈川県内に建設する中間駅について相模原市「橋本駅付近」に整備することが発表されました。

僕は、県議会議員時代の平成19年9月県議会定例会の本会議で羽田・成田空港間のリニア新幹線構想の実用化と共に、リニア中央新幹線神奈川県駅について質問し、松沢知事(当時)から相模原市内に設置の意向を議会で初めて答弁をいただいた経緯もあり、この決定を大変喜ばしく思っています。

■さらに魅力あふれる街づくりを

加山俊夫市長を先頭に相模原市の市民力、環境、経済、教育や、観光資源などの「相模原力」を活かし、通過駅ではなく、利用されるお客様らが「相模原に寄ってきたい」と感じていただけるよう、地域の皆様のご理解のもと、人が集まる魅力あふれる街づくりが必要です。今後も、賛否さまざまなお意見を皆様からお聞きし、地元相模原市の発展に尽力していきます。

【中央リニア新幹線】相模原市に新駅誘致へ

中央リニア新幹線計画「積極的に取り組む」相模原市に新駅誘致(二〇〇七/九/二十一 東京新聞)

東京一大阪間を約一時間で結ぶ中央リニア新幹線計画で、松沢成文知事は二十日、県内に設ける新駅を相模原市内に誘致することを明らかにした。県内で、リニア新駅の具体的な誘致先が示されたのは初めて。

この日の県議会代表質問で、本村賢太郎氏(民主)の質問に、松沢知事は「今年五月に、JR東海に出向き、リニア新幹線の建設促進と県内への駅誘致を要望してきた。県内市町村や経済団体などと連携し、相模原市域への駅誘致に向け、積極的に取り組んでいく」と答えた。

2007年9月21日 東京新聞より

○ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



○お知り合いをご紹介ください

元気なもとむら賢太郎を、「もっと、もっと」知っていただくために、皆様のお知り合いをご紹介ください。

○ボランティア募集

朝は駅でのピラ配り。日中は事務作業、ポスター貼り替え、ポスティングなどぜひ皆様のお力をお貸しください。

○ご寄付のお願い

財政的にも、もとむら賢太郎をご支援いただける方はぜひ宜しくお願い致します。なお、いただきましたご寄付は、税額控除の対象となりますので、下記事務所連絡先までお問い合わせください。
※政治資金規正法上、ご寄付いただける方は、「お名前」「ご自宅住所」「電話番号」「ご職業」をお知らせくださいますようお願い致します。

民主党神奈川県第14区総支部総支部長 もとむら賢太郎あて 横浜銀行 相模台支店 普通口座1525332

もとむら賢太郎プロフィール

■昭和45年(1970年)4月生まれ。相模台幼稚園・桜台小・相模台中・県立麻溝台高・青山学院大卒。本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)を経て、藤井裕久衆議院議員秘書。平成15年神奈川県選出選挙区最年少で初当選、平成19年にトップの得票で再選。平成21年衆議院議員初当選。衆議院文部科学委員会理事。平成24年総選挙で惜敗。

もとむら賢太郎事務所

- 事務所 〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺4-15-1 相模原綜合卸売市場E棟7号 電話(042)768-9055 FAX(042)768-9066
- 南渡部事務所 〒252-0313 相模原市南区松が枝町17-8 第2大栄ビル2階 電話・FAX(042)745-7920
- ホームページ <http://dpj-kanagawa14.jp/>
- 電子メール motomura@dpj-kanagawa14.jp

